

単元名：

「NAGANO SDGs PROJECT
私たちにできることを提案しよう」
(全 11 時間扱い中 第 9 時)

授業日時 令和 3 年 7 月 2 日 (金) 第 2 校時

授業学級 2 年 C 組

授業会場 2 年 C 組教室

授 業 者

指 導 者

(1) ねらい

自分の家のルールについて即興で伝える。

(2) 授業のポイント

・場面：自分の家のルールについて伝え合う。

・活動：3 人グループで 1 回目のやり取りを行い、内容面と言語面から振り返ったことを基に 2 回目のやり取りを行う。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 教師とのやりとりを通して本時の学習の見通しをもつ。	○Tom will come to Japan for the second time. When he came to Japan before, he was surprised to know Japanese take off shoes in their house. ◇アメリカでは靴を履いたまま家にあがる文化や、ゴミを日本のように細かく分別しないことを伝える。	10
	【Today's Goal】自分の家のルールについて即興で伝えよう。		
展開	2. 3人グループで1回目のやり取りを行い、内容面と言語面から振り返る。	予想される一回目のやり取りの一部 A: I wash dishes on Monday and Tuesday. B: I get up at six in the morning and do exercise. ◇何人かの生徒に発表してもらい、must, must not の意味に着目する。 ◇教科書内にあるマークと花の会話を聞いて must, must not の意味を全体で確認する。 ◇海外の標識の意味を推測することを通して must, must not の使い方を全体で確認する。	20
	3. メンバーを変えて2回目のやり取りを行う。	想される二回目のやり取りの一部 A: I must wash dishes on Monday and Tuesday. B: I must not play video game for a long time. 【評価】must, must not を使って自分の家のルールについて即興で伝えることができる。	12
終末	4. 学習を振り返る。	◇振り返りシートに1回目と2回目のやり取りで変化した点について書くように促す。 ◇must, must not を用いて、自分の家のルールを伝えられたという生徒を取り上げ、全体で共有する。	8